

ぶんきょうハッピーベイビープロジェクト

ぶんきょうハッピーベイビー応援団会議運営	事業目的	<p>1 結婚・妊娠・出産・育児等について、区内・区外で活動している大学や学識経験者、妊娠・出産を支援している関係団体、民間事業者及び区を構成員とする、「ぶんきょうハッピーベイビー応援団(以下「応援団」という)[文京区版タスクフォース]」を結成し、相互に顔の見える関係を構築していく。</p> <p>2 応援団会議でさまざまな立場からの意見や情報共有等を図ることで、「切れ目なく支援するための」仕組みづくりへの取組みや民間事業者や区が既に実施している事業の有機的な関係構築に資する。</p> <p>3 結婚・妊娠・出産・育児について、応援団の構成員の活動を周知する中で、構成員相互の協働の取組みや新たな事業への契機等が期待できる。</p>
	事業内容	応援団を結成し、応援団会議を開催する。
	スケジュール	平成 26 年 6 月 結成（以降、定期的に開催 [4 回]）
妊娠・出産等に関する相談窓口の充実	事業目的	<p>1 従前、保健所において健康相談を実施してきたが、生理不順等の婦人科系の相談や男性を含めた不妊治療等の相談について相談できる窓口としての位置づけを明確化するとともに充実を図り、区民に対して相談の中で、正しい情報提供ができる体制を整備する。</p> <p>2 区内の大学や企業等に相談窓口の周知を図り、通院に至る前段階での個別相談を受け、助言等を行うとともに、妊娠・出産や健康な体づくりに関する正しい知識の付与を行う。</p>
	事業内容	区内の大学生や企業の若手社員等の若年層の相談に的確に対応できるよう、区の保健師に対するスキルアップ研修等を実施し、相談窓口機能の充実を図る。
	スケジュール	平成 26 年 8 月 保健師へのスキルアップ研修の実施(予定) 平成 26 年 10 月 窓口のリニューアルオープン

大 学 生 向 け周知・啓 発事業	事業目的	<p>1 区内大学の大学生等を対象とした講座等を実施することで、妊娠・出産・育児等についての情報提供を行う。</p> <p>2 1と併せて、健康な生活が営めるように健康の維持・増進に係る情報提供も行い、生活習慣の改善にもつなげていく。</p> <p>3 結婚・妊娠・出産・育児等について情報提供を行うことで、今後のライフプランを個々人が考える契機としていく。</p>
	事業内容	<p>・区内の19大学と協議し、大学祭や学生へのガイダンス等で結婚・妊娠・出産・育児等の知識の付与を行う。(出前講座)</p> <p>・応援団の活動について、周知啓発を行う。</p>
	スケジュール	<p>平成26年7月 区内の大学との協議・調整</p> <p>平成26年10月～ 受け入れ可能な大学と協働し、事業実施</p>
20～4 5歳に 対する 意識 調査	事業目的	<p>1 応援団活動の基礎となる情報として活用するため、特に結婚・妊娠・出産・育児の時期に当たる年代層に特定して、結婚・妊娠・出産・育児等に関する意識調査を実施し、現在の傾向や考え方等について把握する。</p> <p>2 調査結果については、民間の様々な主体の行う結婚・妊娠・出産・育児の支援活動に資するよう、区民に広く公表する。</p>
	事業内容	<p>結婚・妊娠・出産・育児の時期に当たる20歳から45歳までの区民を対象に、その約1割程度を無作為抽出し、質問用紙を郵送して実施する。回収方法は、郵便での返送とし、回収率は約30～40%弱程度を見込むこととする。</p> <p>調査結果の分析を行い、結婚・妊娠・出産・育児等に関する意識の傾向及び考え方について把握する。</p>
	スケジュール	<p>平成26年8月～ 調査票の作成</p> <p>平成26年9月～ 調査票の配布・回収</p> <p>平成27年1月～ 分析</p> <p>平成27年3月 印刷・製本</p>

啓発用冊子の作成・配布事業	事業目的	成人用と中学生用の二種類の冊子を作成し、結婚・妊娠・出産・育児等について、正確な情報提供を行う。
	事業内容	成人用冊子は、応援団活動の集大成となる事業で活用し、効果を高める。また、意識調査の質問票送付時に同封しての配布や、企業向け周知啓発事業及び大学生向け周知啓発事業等で活用する。 中学生用冊子については、教育委員会と連携して、中学校における学習教材として活用する。
	スケジュール	平成 26 年 7 月 作成開始 平成 26 年 9 月 成人用冊子の完成・活用の開始 平成 26 年 12 月 中学生用冊子の完成・配布
企業向け周知・啓発事業	事業目的	1 区内企業の在勤者を対象として妊娠・出産・育児等について、ライフステージに応じた情報提供を行う。 2 1と併せて、健康な生活が営めるように健康の維持・増進に係る情報提供も行い、生活習慣の改善にもつなげていく。 3 妊娠・出産・育児等についての情報提供等を行うことで、先を見据えたライフプランを個々人が考える契機としていく
	事業内容	労働基準監督署等と連携して、区内企業等に入職した1～5年目程度の若手社員を対象とした、健康維持・増進（メンタルヘルス含む）及び妊娠・出産・育児等の知識付与研修を実施する。
	スケジュール	平成 26 年 7 月 労基署等と連携し、事業の調整 平成 26 年 9 月 企業向けの研修周知・募集 平成 26 年 10 月～ 日程調整等を行い2回程度実施

<p>応援団の活動の集大成事業</p>	<p>事業目的</p>	<p>1 応援団の活動の集大成として、結婚・妊娠・出産・育児等について理解を深める機会とする。</p> <p>2 他の自治体、企業、NPO等の様々な団体等に参加を呼びかけ、好事例についての情報の交換や、参加した様々な団体等の間での相互に顔の見える関係づくりを構築する。</p> <p>3 東京都心という地の利を活かし、マスコミ等の協力を得て大々的に情報発信し、少子化対策に向けた機運の醸成を図る。</p>
	<p>事業内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 応援団によるシンポジウム・講演会等を開催する。 ・ 結婚・妊娠・出産・育児等の関連企業、NPO、自治体関係者等によるフォーラムを開催して、様々な観点から少子化対策について考える機会とするとともに、関係者が一堂に会する場を作ることで、相互に顔の見える関係づくりを構築する。 ・ 少子化対策強化交付金の交付を受けた自治体担当者や事業の関係者等が参加し、好事例の情報共有を行う。 ・ 啓発用冊子（大人・中学生向け冊子）を来場者に対して配布し、正確な情報提供を行う。 ・ 主催者は応援団、具体的な実施方法については、提案型公募での事業者又は実行委員会による実施を想定しているが、応援団の意見を踏まえて取り組む。
	<p>スケジュール</p>	<p>平成 26 年 10 月 委託事業者等との開催準備</p> <p>平成 27 年 3 月 イベントの開催</p>